



東洋大学

2025 年夏季 東洋大学 ビジネス日本語 ポイント講座

各界の専門家からビジネスで使える
日本語やスキルを学ぶ

期 間	2025 年 08 月 19 日 (火) ～ 2025 年 08 月 24 日 (日) 全 6 日間
形 式	Zoom を用いたオンライン形式
対 象	N2(JLPT) 合格以上の外国人留学生、 または外国人社員の方。 ※東洋大学以外の方も受講できます。 ※日本国籍の方も受講できます。
募集コース	6 トピック、14 コース ※各トピックは理論 (Theory)、実践 (Practice) の 2 部構成
定 員	各回 1,000 名 (先着順)
費 用	無料
申 込 期 間	2025 年 08 月 23 日 (土) まで (JST)
講 座 申 込	下記の申込サイトよりお申込いただけます。 TOYO Japanese Language Program サイト URL : https://toyo-jlp.com



この講座では、ビジネス場面で実際に求められる日本語や文化知識、マナー、スキル等について深く学ぶことができます。

厳選されたテーマについて各分野の専門家から指導を受けることのできる貴重な機会です。また、留学生の就職活動で大きな強みとなる「BJT ビジネス日本語能力テスト」(公益財団法人日本漢字能力検定協会)の試験対策も含まれています。BJT 受験予定の方は本講座を有効に活用してください。

今期も新たな講師を迎え、より厳選したテーマ全 14 コースからご自身が興味のある講座を自由に選ぶことができます。当日講座に参加できなかった場合も、申し込んだ方は全員後日講義動画を閲覧することが可能です。ぜひ、この機会にビジネス日本語やビジネス文化について理解を深め、日本語力の向上および今後のキャリア構築に役立ててください。

- ー 講座は全て日本語で行われます。
- ー 1 コースのみの参加も複数コースの参加も自由に選ぶことができます。
- ー 講座終了後アンケートに回答した方は、講師が配付を許可した場合のみ講座で使った資料を閲覧することができます。

コース日程

専門家による特別公開講座を 14 コースから自由に選べる！

日程	回	時間	テーマ	コース名	講師	所属
8月19日(火)	01	13:00~14:30	敬語&表現	ビジネス日本語と敬語表現	前田 直子	学習院大学 教授
	02	14:50~16:20		類義表現を中心としたビジネス日本語実践演習	建石 始	神戸学院大学 教授
8月20日(水)	03	13:00~14:30	ビジネス日本語と 漢字・漢語	ビジネス日本語に活きる漢字・漢語のしくみ	尾山 慎	奈良女子大学 教授
	04	14:50~16:20		漢字・漢語力を伸ばす ビジネス日本語の実践トレーニング	陳 秀茵	東洋大学国際教育センター 講師
8月21日(木)	05	13:00~14:30	語彙&文法	ビジネス日本語語彙・表現の習得と演習	田中 祐輔	筑波大学 教授
	06	14:50~16:20		文法を中心としたビジネス日本語実践演習	牛窪 隆太	東洋大学国際教育センター 准教授
8月22日(金)	07	13:00~14:30	翻訳・通訳	ビジネス日本語と翻訳・通訳 -2つの言語を行き来する面白さ-	石川 慎一郎	神戸大学 教授
	08	14:50~16:20		マンガで学ぶ日本語キャラクターの世界	住田 哲郎	京都精華大学 准教授
8月23日(土)	09	13:00~14:30	リスニング& スピーキング	ビジネス日本語の聞き取りマスター術	堀井 恵子	武蔵野大学 名誉教授
	10	14:50~16:20		雑談からはじまるビジネス日本語	陳秀茵	東洋大学国際教育センター 講師
	11	16:40~18:10		BJTとマンガで学ぶビジネス日本語と コミュニケーションの実践	大森 一弘	公益財団法人日本漢字能力検定協会 普及部
8月24日(日)	12	13:00~14:30	ビジネス文化と マナー	ビジネス文化知識の理論と考え方	牛窪 隆太	東洋大学国際教育センター 准教授
	13	14:50~16:20		企業で働くためのビジネスマナーと コミュニケーション	長崎 清美	NPO法人日本語教育研究所 理事・研究員
	14	16:40~18:10		AI時代に日本語を学ぶ意義	李 在鎬	早稲田大学 教授

【講座申込】

右側の QR コード、または URL よりお申込いただけます。

TOYO Japanese Language Program サイト

URL : <https://toyo-jlp.com>



【本講座に関するお問い合わせ】

TOYO Japanese Language Program

E-mail : toyo-jlp@tugs.co.jp



講師紹介



まえだ なおこ
前田 直子

学習院大学文学部
教授

東京大学文学部卒業(言語学)。東京外国語大学大学院修士課程・大阪大学大学院博士後期課程修了(現代日本語学)。博士(文学)。

東京大学留学生センターを経て、2002年4月より学習院大学助教授、2008年4月より学習院大学教授。

日本語学および日本語教育研究の分野で、重要な論文・書籍・日本語教材を多数執筆。現在、日本語学会理事。

また、『ビジネス日本語教育の展開と課題』(ココ出版)を上梓し、ビジネス日本語教育の分野においても重要な提言を行っている。



たていし はじめ
建石 始

神戸女学院大学
教授

大阪外国語大学外国語学部卒業。神戸市外国語大学大学院修士課程・博士課程修了。博士(文学)。

鹿児島県立短期大学文学科准教授を経て、2011年より神戸女学院大学文学部准教授・教授。

『日本語の限定詞の機能』『名詞研究のこれまでとこれから』『名詞類の文法』などの著書や、日本語の類義表現や文法に関する論文、教材を数多く執筆。日本語教育に重要な提言を多く行っている。



おやま しん
尾山 慎

奈良女子大学
教授

大阪府生まれ。大阪市立大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。

大阪市立大学特任講師、京都大学・佛教大学非常勤講師などを経て、2013年より現職。

また、真言宗御室派寶珠院住職として宗教文化にも携わる。

古代日本語の文字や言葉の使われ方に関心を持ち、日本語の歴史や文字の成り立ち、表記の工夫などをテーマに研究を展開。

新村出賞研究奨励賞、萬葉学会奨励賞、漢検漢字文化研究奨励賞佳作などを受賞。

『日本語の文字と表記 学びとその方法』『朝倉日本語ライブラリー漢字』などをはじめ、日本語の漢字の歴史や文字としての特徴などに関する重要な提言を行っている。



ちん しゅういん
陳 秀茵

東洋大学国際教育センター
講師

広東海洋大学外国語学部日本語学科卒業。神戸大学大学院人文学研究科博士課程前期課程・後期課程修了。博士(学術)。ドイツハンプルク大学、神戸大学アシスタント、神戸芸術工科大学、日本経済大学など非常勤講師・専任講師を経て、現職。

専門は、現代日本語文法、日本語教育、日本語学、コーパス言語学。

日本語学習者の視点から、現代日本語文法の文末表現と、漢字漢語研究に取り組む。文法・語彙の理論知識に基づいて、学習者ならではの学習困難点、注意点を踏まえ、日本語力向上のための勉強のコツなどを提示する。



た な か ゆうすけ
田中 祐輔

筑波大学
教授

筑波大学日本語・日本文化学類卒業。早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程修了。博士(日本語教育学)。

日本学術振興会特別研究員、中国復旦大学講師、早稲田大学国際学術院助手、東洋大学講師・准教授、青山学院大学准教授を経て現職。

多文化共生・国際文化交流、日本語教育をテーマに、留学生への日本語教育、ビジネス日本語教育、JSL児童への日本語教育、日本語教材分析と開発、言語政策、日本語教育史、日本文化の海外発信などを研究。

第32回大平正芳記念賞特別賞、2018年度日本語教育学会奨励賞など受賞。



う し く ぼ りゅうた
牛窪 隆太

東洋大学国際教育センター
准教授

獨協大学外国語学部卒業。早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程修了。

博士(日本語教育学)。Waseda Education(Thailand)・タイ早稲田日本語学校副主任講師、早稲田大学日本語教育研究センター助手、関西学院大学日本語教育センター日本語常勤講師・言語特別講師を経て、現職。専門は、質的データ分析法、教師研究、実践研究。



い し か わ しんいちろう
石川 慎一郎

神戸大学
教授

神戸大学文学部卒業。神戸大学大学院文学研究科・岡山大学大学院文化科学研究科修了。博士(文学)。専門はコーパス言語学、応用言語学。静岡県立大学講師、広島国際大学講師、神戸大学助教授(准教授)を経て、2004年より現職。

大学英語教育学会理事・関西支部長、計量国語学会副会長、日英言語文化学会理事、英語コーパス学会元会長。文化庁文化審議会国語分科会委員・同言語資源小委員会副主査、文部科学省日本語教師養成・研修推進拠点整備事業近畿ブロック責任者。

主著に『ベーシックコーパス言語学』、『ベーシック応用言語学』『The ICNALE Guide: An Introduction to a Learner Corpus Study on Asian Learners' L2 English』ほか。主な訳書として、『概説コーパス言語学—手法・理論・実践』、『コーパス語彙意味論—語から句へ』、『D.H.ロレンス短篇全集 第4巻』(「二羽の青い鳥」)など。



す み だ てつろう
住田 哲郎

京都精華大学
准教授

神戸大学大学院文化学研究科修了。博士(学術)。

韓国・東新大学校観光日本語学科専任講師、神戸大学大学院人文学研究科助教、台湾・東呉大学日本語文学系助理教授などを歴任し、2017年より現職。

日本語学の視点からマンガ表現を考察する研究に取り組み、「日本マンガの翻訳不可能性に関する一考察」や「役割語とキャラクターの関係性—いわゆる〈王様語〉の分析を通じて—」、「マンガの笑い声表記に見る役割語」などの著作を通じて、多数の研究成果を発信している。



ほ り い け い こ
堀井 恵子

武蔵野大学
名誉教授

青山学院大学文学部英米文学科を卒業後、ドイツ銀行東京支店勤務、イラク・パスラの日本企業支社勤務を経て、日本語教育に携わる。博士(学術)。

武蔵野大学教授・大学院言語文化研究科専攻長・グローバル学部日本語コミュニケーション学科長を経て、現在に至る。

日本語OPI研究会会長、アカデミック・ジャパニーズグループ事務局、ビジネス日本語研究会代表幹事、経済産業省委託事業「日本企業における外国人留学生の就業促進に関する調査研究」検討委員会委員、経済産業省委託事業「アジア人財資金構想共通カリキュラム・教材開発委員会」委員、文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業、文化庁委託事業「就労者のための日本語教師〔初任〕研修」(令和2-4年度)の運営と講師担当などを歴任。ビジネス日本語研究と教育の分野そのものを構築し、最先端の理論と実践を国内外に展開している。



おおもり かずひろ

大森 一弘

公益財団法人日本漢字能力
検定協会 普及部

1996年3月 専修大学 文学部 国文学科 卒業、中学校・高等学校 国語教員免許 取得
1996年4月 株式会社ワンビシアークाइブズ 入社
企業を対象にしたデータ保管や運用に関するBtoBソリューション営業に従事。
2001年6月 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 入職
小学校から大学まで幅広い教育機関、および企業の日本語能力育成支援に従事。学
校教育現場における国語・総合学習、入試や就職で求められる日本語・漢字能力の課
題解決提案を行ってきた。また、協会広報としてテレビや新聞、雑誌等の媒体取材対
応、プレスリリース執筆を手掛ける。
現在、大学および企業で外国人・日本人のコミュニケーション力向上に向けた講義・
研修を多数実施。



ながさき きよみ

長崎 清美

NPO 法人日本語教育研究所
理事・研究員

駒澤大学、東京工芸大学非常勤講師。鉄鋼メーカー勤務を経て1992年より日本語
教育に従事。地域の教室、学校(日本語学校、専門学校、大学)で教鞭をとったのち、
青年海外協力隊でケニアに赴任し異文化の中で働くことを経験。帰国後、日本語教
師養成講座や教材開発プロジェクトなど、日本語と外国人に関する仕事に携わる。
現在は企業におけるビジネスパーソンに対する日本語研修コーディネート、留学
生の就職活動のサポート、ビジネス日本語教師養成などを中心に活動している。



り じえ ほ

李 在鎬

早稲田大学
教授

京都大学大学院人間環境学研究科博士課程修了。博士(人間環境学)。
専門は計量言語学、コーパス言語学、日本語教育、応用言語学、認知言語学など。情
報通信研究機構研究員、国際交流基金研究員、筑波大学准教授などを経て、2016年
より現職。計量国語学会理事、日本語教育学会代議員、韓国日本語教育学会海外理
事などを歴任。2014年に日本語教育学会奨励賞を受賞。『AIで言語教育は終わるの
か?: 深まる外国語の教え方と学び方』『データ科学×日本語教育』をはじめ、AIを活
用した日本語教育や言語学習に関する最先端の提言を行っている。

コース詳細

回	講座名	概要
01	ビジネス日本語と敬語表現	ビジネス日本語と言うと敬語を連想し、苦手意識を感じる人も多いのではないのでしょうか。本講義では、敬語の基本的な考え方を確認しながら、ビジネス場面で使われる敬語表現を解説し、日本語学的観点から理解を深めます。さらに、敬語学習に役立つコンテンツとその学習方法について紹介します。
02	類義表現を中心とした ビジネス日本語実践演習	本講義では、ビジネスシーンにおける類義表現の使い分けを中心に実践演習を行います。類義語や類義表現の微妙なニュアンスや適切な使用方法を理解し、正しく使いこなす方法を身につけます。実際のビジネス場面を想定した演習を通じて、効果的なコミュニケーション能力を養いましょう。
03	ビジネス日本語に生きる漢字・漢語のしくみ	ビジネス日本語でよく使われる「輸出」「設立」「消耗」などの漢字語には、中国語由来の語彙や、日本語として定着する過程で生まれた音や意味の変化など、興味深い背景があります。本講座では、呉音・漢音・慣用音といった音読みの変遷や、訓読みの歴史的経緯にもふれながら、現代日本語において漢字語がどのように意味を担っているかをわかりやすく解説します。具体的な語を取り上げて、音と意味のずれ、当て字、語構成のしくみなどを学ぶことで、ビジネス日本語に必要な漢字語の理解を深めましょう。
04	漢字・漢語力を伸ばすビジネス日本語の 実践トレーニング	理論回の知識を踏まえ、本講座では、ビジネスの現場で求められる漢字・漢語力を、実践的なアプローチで深めていく方法をみなさんと考えます。漢字語の音や意味、用法に注目しながら、聞く・書くといった複数のスキルを連動させ、知識を実際のコミュニケーションの中で活かす力へとつなげていきます。漢字・漢語への感度を磨き、ビジネス場面で自然に使える運用力の土台を築きましょう。
05	ビジネス日本語語彙・表現の習得と演習	実際のビジネス場面で使われる語彙について、外国人材が学習する際の困難点を確認しながら、それらを克服するための学習方法を紹介し、問題演習と解説を通じて理解を深めます。講義の中では実際にBJT ビジネス日本語能力テストの模擬問題を解く活動も行います。
06	文法を中心としたビジネス日本語実践演習	実際のビジネス場面で使われる日本語文法について、問題演習と解説を通じて理解を深めます。講義の中では実際に問題を解いてもらいますので、ノートなどを準備して受講してください。
07	ビジネス日本語と翻訳・通訳 ー2つの言語を行き来する面白さー	「外国語としての日本語」を使って仕事をする場合、母語との間で、翻訳や通訳の作業を求められることも多いでしょう。それでは、翻訳や通訳の現場において要求される知識とはどのようなもののでしょうか？「Traduttore, traditore (翻訳者は裏切り者)」という有名な言葉を糸口として、日本語へ(から)の翻訳や通訳の面白さと難しさ、また、そこから見えて来る日本語という言語の特性について考えます。
08	マンガで学ぶ日本語キャラクターの世界	世界中で親しまれている日本のマンガ。その魅力は、ストーリーや絵だけでなく、独特な言葉づかいや文化的背景にもあります。本講座では、日本語と他言語の間に生じる表現や文化の違いに注目しながら、翻訳という視点からマンガを読み解きます。オノマトペや役割語、文体、文化的な暗黙の了解など、マンガならではの翻訳の難しさを具体的な事例とともに紹介し、日本語や日本文化の奥深さについて考えます。「そのまま訳せない言葉」に出会うことで、日本語を学ぶ楽しさや翻訳の醍醐味を体感してみませんか？
09	ビジネス日本語の聞き取りマスター術	ビジネスの場では、お客様や上司の話や電話を含む音声による情報から必要な内容を的確に得る力が欠かせません。本講義では、ビジネス日本語の聴解に焦点を当て、仕事に直結する具体的・実践的なスキルを養います。聞き取り力を高め、職場でのコミュニケーションをより円滑にする方法を楽しく身につけましょう。
10	雑談からはじまるビジネス日本語	仕事は、いつも本題から始まるわけではありません。職場での何気ない雑談や、取引先とのさりげない会話は、信頼関係を築く大切なきっかけとなります。本講座では、ビジネスの場面における「雑談」に注目し、どのように話しかけ、どのように応じるかを考えます。話題の遊び方や距離感のとり方、あえて言葉にしない配慮など、言葉の「使い方」と「使わなさ方」のバランスに目を向けながら、日本語の会話における微妙な空気や関係づくりの工夫を学びます。雑談の中にひそむ、日本語コミュニケーションの奥深さに触れてみましょう。
11	BJTとマンガで学ぶビジネス日本語とコミュニケーションの実践	本講座では、日本で働くビジネスパーソンに求められるコミュニケーションスキルを紹介し、「BJT ビジネス日本語能力テスト」の特色や出題例についても解説します。BJT テストを組み合わせた実践的な学びを通じて、ビジネス日本語能力を向上させる具体的なヒントをお伝えします。また講座の後半では、BJT ビジネス日本語能力テストの公式 Facebook で公開されているマンガを活用しながら、日本企業の文化やビジネス日本語の実践的な使い方を楽しく学びます。
12	ビジネス文化知識の理論と考え方	ビジネス日本語の習得にはビジネス文化や慣習への理解が必要不可欠です。本講義では、文化理解のための理論的枠組みを紹介しながら、実際場面で文化を理解するためのトレーニングを行います。
13	企業で働くためのビジネスマナーとコミュニケーション	ビジネス日本語の習得にはビジネス文化や商慣習への理解が必要不可欠です。本講義では、日本企業で働くために重要なビジネスマナーやビジネスコミュニケーションスキルについて、具体的な事例を交えながら解説し、皆様と一緒に考えます。
14	AI時代に日本語を学ぶ意義	AI 技術が急速に進化し、翻訳や通訳ツールが日常的に活用される現代において、「日本語を学ぶ意義」とは何でしょうか。本講座では、AI 時代における日本語学習の重要性をテーマに、翻訳技術の限界や言語学習が持つ本質的な価値について考察します。また、具体的な事例を交えながら、日本語学習が未来の社会やキャリアにどのような可能性があるかを多角的に検討します。AI では補えない日本語の魅力や可能性について、参加者のみなさんと共に考える機会になれば嬉しいです。



東洋大学

2025 SUMMER TOYO UNIVERSITY BUSINESS JAPANESE SPECIAL COURSES

Learn Business Japanese and skills
from experts in various fields

COURSE OUTLINE

PERIOD	August 19, 2025 - August 24, 2025 (6 days in total)
FORMAT	Online, organized over Zoom
TARGET	International students or employees who have passed N2 (JLPT) or above. * Non Toyo University student can also take this course. * Participation from abroad is highly welcomed.
COURSE	6 topics, 14 lectures * Each topic consists two parts : Theory and Practice
CAPACITY	1,000 participants per lecture (first-come-first-served basis)
FEE	Free
APPLICATION DEADLINE	August 23, 2025(JST)
COURSE APPLICATION	Please apply from the site below. TOYO Japanese Language Program Site URL : https://toyo-jlp.com



- Courses will be conducted entirely in Japanese.
- You can freely choose to participate in only one lecture or multiple lectures.
- Those who responded to the questionnaire after the lecture will be able to view the materials used in the course only if the lecturer has given permission to distribute them.

In this course, you will learn about the Japanese language, cultural knowledge, manners, and skills actually required in business situations.

This is a valuable opportunity to learn from experts in each field about carefully selected topics. It also includes preparation for the "BJT Business Japanese Proficiency Test" (Japan Kanji Aptitude Testing Foundation), which is a great help for international students in their job hunting activities. If you plan to take the BJT examination, this course will be great use to you.

This term, with new instructors, participants can freely choose courses of their own interest from a total of 14 courses with more carefully selected themes. If you are unable to attend the course on the day of the lecture, all those who have signed up will be able to view the lecture videos at a later date. Please take this opportunity to deepen your understanding of business Japanese and business culture, and use it to improve your Japanese language skills and build your future career.

SCHEDULE

You can choose between 14 lectures, delivered by distinguished experts in the respective fields!

LECTURES ON	No.	TIME(JST)	TOPIC	LECTURES	LECTURERS	INSTITUTION
Tue. Aug. 19	01	13:00~14:30	Honorific Language &	Honorifics in Business Japanese	Naoko MAEDA	Gakushuin University (Professor)
	02	14:50~16:20		Practical Business Japanese Exercises Focusing on Synonymous Expressions	Hajime TATEISHI	Kobe College (Professor)
Wed. Aug. 20	03	13:00~14:30	Business Japanese and Kanji/Sino-Japanese	Understanding the Structure of Kanji and Sino-Japanese Words in Business Japanese	Shin OYAMA	Nara Women's University (Professor)
	04	14:50~16:20		Mastering Kanji and Sino-Japanese Words for Business	Xiuyin CHEN	Toyo University Center for Global Education and Exchange (Lecturer)
Thu. Aug. 21	05	13:00~14:30	Vocabulary & Grammar	Acquisition of Business Japanese Vocabulary and Expressions and Exercises	Yusuke TANAKA	University of Tsukuba (Professor)
	06	14:50~16:20		Practical Grammar Exercises for Business Japanese	Ryuta USHIKUBO	Toyo University Center for Global Education and Exchange (Associate Professor)
Fri. Aug. 22	07	13:00~14:30	Translation & Interpretation	Business Japanese and Translation/ Interpretation -The joy of switching between two languages-	Shinichiro ISHIKAWA	Kobe University (Professor)
	08	14:50~16:20		Learning Japanese Character Language through Manga	Tetsuro SUMIDA	Kyoto Seika University (Associate Professor)
Sat. Aug. 23	09	13:00~14:30	Listening & Speaking	Mastering Listening Skills for Business Japanese	Keiko HORII	Musashino University (Honorary Professor)
	10	14:50~16:20		Business Japanese Starting from Small Talk	Xiuyin CHEN	Toyo University Center for Global Education and Exchange (Lecturer)
	11	16:40~18:10		Practical Business Japanese and Communication through BJT and Manga	Kazuhiro OMORI	The Japan Kanji Aptitude Testing Foundation
Sun. Aug. 24	12	13:00~14:30	Business Culture and Manners	Theory and Concepts of Business Culture in Japan	Ryuta USHIKUBO	Toyo University Center for Global Education and Exchange (Associate Professor)
	13	14:50~16:20		Business manners and communication for working in a company	Kiyomi NAGASAKI	NPO Research Institute for Japanese Language Education (Director・Researcher)
	14	16:40~18:10		The Significance of Learning Japanese in the AI Era	Jaeho LEE	WASEDA University (Professor)

【COURSE APPLICATION】

Apply from the QR code on the right site or the URL below.

TOYO Japanese Language Program Site

URL: <https://toyo-jlp.com>



【CONTACT】

TOYO Japanese Language Program

E-mail : toyo-jlp@tugs.co.jp



LECTURER PROFILES



Naoko MAEDA

Gakushuin University
(Professor)

Graduated from the Faculty of Letters (Linguistics), the University of Tokyo. Completed a master's program at Tokyo University of Foreign Studies and a doctoral program at Osaka University (Modern Japanese Linguistics). Holds a Ph.D. in Literature. After working at the University of Tokyo's International Student Center, appointed Associate Professor at Gakushuin University in April 2002, and promoted to Professor in April 2008. She has authored numerous influential academic papers, books, and Japanese language teaching materials in the fields of Japanese linguistics and language education. She currently serves as a director of the Society for Japanese Linguistics. Her book "ビジネス日本語教育の展開と課題 (ココ出版)" (Development and Issues in Business Japanese Education (Koko Publishing)) presents significant insights into business Japanese education.



Hajime TATEISHI

Kobe College
(Professor)

Graduated from the Faculty of Foreign Languages, Osaka University of Foreign Studies. Completed the master's and doctoral programs at the Graduate School of Foreign Languages, Kobe City University of Foreign Studies. Ph.D. in Literature. Served as an associate professor at the Department of Literature, Kagoshima Prefectural Junior College, before assuming the position of associate professor and then professor at the Faculty of Literature, Kobe Women's University in 2011. Has written numerous books, including "日本語の限定詞の機能" (Functions of Japanese Determiners), "名詞研究のこれまでとこれから" (Japanese Noun Studies: Past, Present, and Future), and "名詞類の文法" (Grammar of Noun Classes) as well as many articles, teaching materials, and research papers on Japanese synonyms and grammar. Has made many important contributions to Japanese language education.



Shin OYAMA

Nara Women's University
(Professor)

Born in Osaka. Completed a doctoral program at the Graduate School of Letters, Osaka City University. Holds a Ph.D. in Literature. After working as a specially appointed lecturer at Osaka City University and part-time lecturer at Kyoto University and Bukkyo University, he assumed his current position in 2013. Also serves as the head priest of Hōju-in Temple (Omuro school of Shingon Buddhism), contributing to religious and cultural studies. His research focuses on the history of the Japanese language, especially the development and use of characters in ancient times, including writing systems and orthographic innovations. Recipient of the Shinmura Izuru Prize for Young Scholars, the Manyogaku Society's Encouragement Prize, and the Japan Kanji Aptitude Testing Foundation's Honorable Mention for Research in Kanji Culture. Author of "日本語の文字と表記 学びとその方法" (The Characters and Writing of Japanese: Learning and Methodology), "朝倉日本語ライブラリー漢字" Kanji (Asakura Japanese Language Library), and other works offering valuable insights into the history and functions of kanji.



Xiuyin CHEN

Toyo University Center for
Global Education and Exchange
(Lecturer)

Graduate of the Japanese Language Program at the College of Foreign Languages of the Ocean University of China. Completed the doctoral program at the Graduate School of Humanities, Kobe University. Assistant at the University of Hamburg (Germany) and Kobe University. Part-time and full-time Lecturer at Kobe Design University and Japan University of Economics. Currently a Lecturer at Toyo University. Doctor Chen's research covers modern Japanese grammar, Japanese language education, Japanese linguistics, as well as corpus linguistics. Takes special interest in sentence-final markers and Chinese-related lexicon in modern Japanese. Building on her theoretical knowledge of Japanese grammar and vocabulary, as well as her own learning experience, the lecturer will offer hints how to improve your Japanese skills.



Yusuke TANAKA

University of Tsukuba
(Professor)

Graduated from the College of Japanese Language and Culture, School of Humanities and Culture, University of Tsukuba. Completed the doctoral program in Japanese Language Education at the Graduate School of Japanese Applied Linguistics, Waseda University. Ph.D. in Japanese Language Education.

Served as a specially appointed researcher for the Japan Society for the Promotion of Science, a lecturer at Fudan University in China, an assistant professor at the Faculty of International Research and Education, Waseda University, a lecturer and associate professor at Toyo University, and an associate professor at Aoyama Gakuin University before assuming the current position.

Research interests include multicultural coexistence, international cultural exchange, and Japanese language education, with a focus on Japanese language education for foreign students, business Japanese, Japanese language education for JSL children, Japanese language teaching materials analysis and development, language policy, history of Japanese language education, and dissemination of Japanese culture overseas.

Awards include the 32nd Special Prize of the Ohira Masayoshi Memorial Award and the 2018 Japanese Language Education Society Encouragement Award.



Ryuta USHIKUBO

Toyo University Center for
Global Education and Exchange
(Associate Professor)

Prof. Ushikubo graduated from Dokkyo University. He learned Japanese language education in the doctoral program at Waseda university and got a PhD (Japanese Language Education). He worked as a deputy chief instructor at an overseas educational institution (Waseda Education Thailand). After returning to Japan, he kept pursuing a career in language education, working as a research assistant at Waseda University and a lecturer at the Kwansei Gakuin University. He is currently teaching Japanese at the Center for Global Education and Exchange, Toyo University. His specialty is qualitative data analysis, teacher research, and classroom research.



Shinichiro ISHIKAWA

Kobe University
(Professor)

Graduated from the Faculty of Letters, Kobe University. Completed graduate studies at the Graduate School of Letters, Kobe University, and the Graduate School of Cultural Sciences, Okayama University. Holds a Ph.D. in Literature.

Specializes in corpus linguistics and applied linguistics. Served as a lecturer at the University of Shizuoka, Hiroshima International University, and associate professor at Kobe University. Has held current position since 2004.

Board Member and Chair of the Kansai Chapter, Japan Association for College English Teaching (JACET), Vice President of the Mathematical Linguistic Society of Japan, board member of the Association for Japanese and English Language and Culture, and former president of the Japan Association for English Studies. Member of the Subdivision on the Japanese Language, Council for Cultural Affairs, Agency for Cultural Affairs, and Deputy Chair of its Language Resources Subcommittee. Regional Coordinator for the Kinki Block in the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology's project to establish training and development centers for Japanese language teachers.

Major works include ベーシックコーパス言語学 (A Basic Guide to Corpus Linguistics), ベーシック応用言語学 (A Basic Guide to Applied Linguistics), and "The ICNALE Guide: An Introduction to a Learner Corpus Study on Asian Learners' L2 English". Translations include "Corpus Linguistics: Methods, Theory, and Practice" and "Words and Phrases: Corpus Studies of Lexical Semantics (Language in Society)" and "The Complete Short Stories of D.H. Lawrence", Vol. 4 ("Two Blue Birds").



Tetsuro SUMIDA

Kyoto Seika University
(Associate Professor)

Completed a doctoral program at the Graduate School of Intercultural Studies, Kobe University. Holds a Ph.D. in Interdisciplinary Studies.

Previously held teaching positions at Dongshin University (Korea), Kobe University, and Soochow University (Taiwan).

Since 2017, he has held his current position.

His research focuses on manga from the perspective of Japanese linguistics, exploring how character-specific language styles (yakuwarigo) function in manga.

His works include "日本マンガの翻訳不可能性に関する一考察" (A Study on the Untranslatability of Japanese Manga), "役割語とキャラクターの関係性 ―いわゆる〈王様語〉の分析を通じて―" (Role Language and Character Relationships: Analysis of "Kingly" Speech), and "マンガの笑い声表記に見る役割語" (Laughter and Role Language in Manga, contributing valuable insights into manga linguistics).



Keiko HORII

Musashino University
(Honorary Professor)

After graduating from the AGU Department of English, worked at the Tokyo branch of Deutsche Bank and the Iraqi branch of a Japanese company in Basra before becoming involved in Japanese language education. Ph.D. (Academic).

Served as a professor, dean of the Graduate School of Language and Culture Studies, and dean of the Department of Japanese Communication at Musashino University before assuming the current position.

Has held positions such as president of the Japanese OPI Study Group, secretary of the Academic Japanese Group, executive director of the Society for Business Japanese Research, member of the Review Committee for the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)-commissioned research project "Survey and Research on Promoting Employment of Foreign Students in Japanese Companies," member of the Committee for the Development of a Common Curriculum and Teaching Materials for the METI-commissioned project "Asian Human Resources Fund Initiative," and operator and instructor of the Agency for Cultural Affairs-commissioned Japanese Language Education Program for "Foreigners as Consumers" and the Agency for Cultural Affairs-commissioned Japanese Language Teacher Training (Initial) (Reiwa 2-4 fiscal years). She has constructed the field of business Japanese research and education itself and has disseminated the latest theories and practices both domestically and internationally.



Kazuhiro OMORI

The Japan Kanji Aptitude
Testing Foundation

Graduated from Senshu University, Faculty of Literature, Department of Japanese Literature in March 1996. Obtained a junior high school and high school Japanese language teaching license.

Joined NX WANBISHI ARCHIVES CO., LTD. in April 1996 and Engaged in BtoB solution sales for data storage and operations targeting businesses.

Joined the Japan Kanji Aptitude Testing Foundation, a public-interest corporation in June 2001. Involved in supporting Japanese language proficiency development for a wide range of educational institutions from elementary schools to universities and for corporate clients. Provided solutions to challenges in Japanese language and kanji proficiency required for school education, comprehensive learning, and entrance exams or job hunting. Also worked as a public relations officer, handling media interviews, press releases, and coverage in television, newspapers, magazines, and other media.

Currently, conducting numerous lectures and training sessions at universities and companies to enhance communication skills for both foreign and Japanese individuals.



Kiyomi NAGASAKI

NPO Research Institute for
Japanese Language Education
(Director•Researcher)

Part-time lecturer at Komazawa University and Tokyo Institute of Technology. After working for a steel manufacturer, she started teaching Japanese in 1992. After teaching at local Japanese language classes and schools (Japanese language school, vocational school, and university), she was posted to Kenya as a Japan Overseas Cooperation Volunteer (JOCV) and experienced working in a cross-cultural environment. After returning to Japan, she has been involved in work related to the Japanese language and foreigners, such as Japanese language teacher training courses and teaching material development. Currently, she focuses on coordinating Japanese language training for business people at companies, supporting foreign students in their job hunting activities, and training business Japanese language teachers.



Jaeho LEE

WASEDA University
(Professor)

Completed a doctoral program at the Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University. Holds a Ph.D. in Human and Environmental Studies.

Specializes in quantitative linguistics, corpus linguistics, Japanese language education, applied linguistics, and cognitive linguistics.

Has held research positions at the National Institute of Information and Communications Technology and the Japan Foundation, and served as associate professor at the University of Tsukuba. Since 2016, he has held his current position.

Former board member of the Mathematical Linguistics Society, councilor of the Society for Teaching Japanese as a Foreign Language, and overseas director of the Korean Association of Japanese Education.

Recipient of the 2014 Encouragement Award from the Society for Teaching Japanese as a Foreign Language.

He is known for cutting-edge research on AI-based language education and learning, including works such as "AIで言語教育は終わるのか?: 深まる外国語の教え方と学び方" (Will AI End Language Teaching?: The Deepening Teaching and Learning of Foreign Languages) and "データ科学×日本語教育" (Data Science × Japanese Language Education).

OUTLINES

No.	LECTURES	OUTLINE
01	Honorifics in Business Japanese	When thinking about business Japanese, many people may associate it with honorifics and feel intimidated. This lecture reviews the fundamental concepts of honorifics, explains their usage in business contexts, and deepens understanding from a linguistic perspective. Additionally, resources and effective methods for learning honorific expressions will be introduced.
02	Practical Business Japanese Exercises Focusing on Synonymous Expressions	In this lecture, you will engage in practical exercises focusing on the differentiation of synonymous expressions in business scenes. You will understand the subtle nuances and appropriate usage of synonyms and synonymous expressions, and learn how to use them correctly. Through exercises that simulate actual business situations, you will develop effective communication skills.
03	Understanding the Structure of Kanji and Sino-Japanese Words in Business Japanese	This course explores the structure of commonly used Sino-Japanese words in business, such as “輸出 (export),” “設立 (establishment),” and “消耗 (consumption).” These words often have roots in Chinese and have undergone phonetic and semantic changes as they were adapted into Japanese. The course introduces historical aspects of on-yomi (including Go-on, Kan-on, and customary readings) and kun-yomi, explaining how kanji-based vocabulary conveys meaning in modern Japanese. Participants will deepen their understanding by analyzing phonetic shifts, ateji (phonetic renderings), and word formation mechanisms.
04	Mastering Kanji and Sino-Japanese Words for Business	This course offers practical training to enhance your ability to use kanji and Sino-Japanese words effectively in business settings. Focusing on sound, meaning, and usage, participants will develop integrated skills for reading, writing, and applying vocabulary in real communication. The course bridges the gap between passive knowledge and active expression, helping learners gain confidence and fluency in using vocabulary naturally in professional contexts.
05	Acquisition of Business Japanese Vocabulary and Expressions and Exercises	In this lecture, we will identify the challenges Japanese language learners face when learning the vocabulary used in actual business contexts, and introduce learning methods to overcome these challenges. We will deepen our understanding through practice exercises and commentaries. During the lecture, we will also engage in activities that involve solving mock questions from the BJT Business Japanese Proficiency Test.
06	Practical Grammar Exercises for Business Japanese	This course focuses on grammar that is essential in real business settings. Through hands-on exercises and clear explanations, participants will deepen their understanding of key grammatical patterns used in emails, meetings, and conversations. Please be ready to actively participate by solving practice questions during the sessions.
07	Business Japanese and Translation/ Interpretation -The joy of switching between two languages-	When working in Japanese, you will often be asked to translate or interpret with your native language. So what kind of knowledge is required in the field of translation and interpretation? Using the famous phrase “Traduttore, traditore” (a translator is a traitor) as a starting point, we will discuss the fun and difficulty of translation and interpreting into (from) Japanese, as well as the characteristics of the Japanese language as see through this process
08	Learning Japanese Character Language through Manga	Japanese manga, beloved around the world, is rich not only in story and art but also in distinctive language and cultural nuance. This course examines manga from a translation perspective, focusing on differences in expression and cultural assumptions between Japanese and other languages. Topics include onomatopoeia, role language, tone, and unspoken norms. Through these, participants will explore the depth of Japanese language and culture and experience the joy and challenges of translating “untranslatable” expressions.
09	Mastering Listening Skills for Business Japanese	In the business world, it is essential to accurately gather relevant information from verbal communications, including conversations with clients, superiors, and telephone interactions. This lecture focuses on listening comprehension in business Japanese, nurturing practical skills directly applicable to work. Participants will enjoy learning methods to enhance listening skills and improve workplace communication.
10	Business Japanese Starting from Small Talk	Business conversations don't always start with the main topic. Casual chats in the workplace or with clients can lay the groundwork for strong relationships. This course focuses on small talk in business contexts—how to start and respond appropriately. It explores topics such as choosing suitable subjects, maintaining appropriate distance, and non-verbal considerations, helping participants understand the subtle art of Japanese communication.
11	Practical Business Japanese and Communication through BJT and Manga	This lecture introduces the communication skills required for business person working in Japan and explains the characteristics and sample questions of the "BJT Business Japanese Proficiency Test." Through practical study combined with the BJT test, we will provide concrete tips on how to improve your business Japanese language skills. In the latter half, participants will enjoy learning Japanese business culture and practical usage of business Japanese through manga published on the official BJT Facebook page.
12	Theory and Concepts of Business Culture in Japan	To communicate effectively in Japanese business environments, cultural literacy is essential. This course introduces key concepts and theories of business culture, and guides participants in applying them to real-world interactions. By exploring values, customs, and workplace norms, learners will gain the tools to navigate Japanese business society with confidence.
13	Business manners and communication for working in a company	Acquiring business Japanese is intrinsically linked to understanding business culture and commercial customs. In this lecture, we will explore essential business manners and communication skills for working in Japanese companies, incorporating specific examples, and engage in thoughtful discussions together.
14	The Significance of Learning Japanese in the AI Era	What is the significance of learning Japanese in an era where AI technologies, such as translation and interpretation tools, are widely used? This lecture explores the importance of learning Japanese in the age of AI, discussing the limitations of translation technologies and the intrinsic value of language learning. By examining specific examples, we will also consider the potential of Japanese language learning for future society and careers. We hope this lecture will offer participants an opportunity to think about the unique charm and possibilities of Japanese beyond the reach of AI.



東洋大学

2025年夏季 东洋大学 商务日语 讲座

各界专家亲临指导
商务日语和商务技巧

时 间 2025年8月19日（星期二）～8月24日（星期日）
※共6天

形 式 使用Zoom进行网络授课

对 象 N 2 (JLPT)及格水平以上的外国留学生、
或者是外籍社员。
※东洋大学以外的学生也可以参加。
※欢迎居住在日本海外的国家或地区的各界人士参加。

课 程 共6大主题、14节课
※各主题均由理论和实践两部分构成。

名 额 每个讲座 1,000名（先到先得）

参 加 费 免费

报 名 截 止 2025年8月23日（星期六）

报 名 方 式 请进入下方网站报名。
TOYO Japanese Language Program网站
网址: <https://toyo-jlp.com>



在本讲座中，您可以深度学习商务场合实际需要的商务日语、文化知识、礼仪、技巧等。

这是一次宝贵的机会，您可以获得各个领域的专家的专业指导。讲座的内容还包括能成为留学生就职的强力优势“BJT商务日语能力测试”（日本汉字能力测试协会）的考试对策。如果您打算参加BJT 考试，我们极力推荐您有效运用此课程。

本期讲座将会聘请新的专家为您讲解，您可以从7大主题14节课中自由选择感兴趣的课程。所有报名者都可以在课后观看讲座视频。请借此机会加深您对商务日语和文化的理解，并以此来建立您的未来职业规划。

—讲座将全部用日语进行。

—您可以根据自身的情况自由选择一节或多节课程。

—回答课后问卷可获取当天课件资料（在讲师允许的条件下）。

✉ toyo-jlp@tugs.co.jp

课程表

您可以从专家亲临指导的14个课程中自由选择！

	回	時間	主题	课程	讲师	所属
8月19日 (星期二)	01	13:00~14:30	敬语表达	商务日语和敬语	前田直子	学习院大学 教授
	02	14:50~16:20		以同义表达为主的商务日语实践演习	建石始	神戸女学院大学 教授
8月20日 (星期三)	03	13:00~14:30	商务日语与 汉字・汉语	商务日语中的汉字与汉语词结构解析	尾山慎	奈良女子大学 教授
	04	14:50~16:20		商务日语汉字词强化训练	陈秀茵	东洋大学国际教育中心 讲师
8月21日 (星期四)	05	13:00~14:30	词汇与语法	商务日语词汇表达练习	田中祐辅	筑波大学 教授
	06	14:50~16:20		实战商务语法训练： 提升实际运用能力的商务日语课程	牛窪隆太	东洋大学国际教育中心 副教授
8月22日 (星期五)	07	13:00~14:30	翻译与口译	商务日语及笔译和口译 -在两种语言之间转换的乐趣-	石川慎一郎	神戸大学 教授
	08	14:50~16:20		通过漫画探索日语角色语言的魅力	住田哲郎	京都精华大学 副教授
8月23日 (星期六)	09	13:00~14:30	听力与口语	商务日语听力精通技巧	堀井惠子	武蔵野大学 名誉教授
	10	14:50~16:20		从闲聊开始的商务日语	陈秀茵	东洋大学国际教育中心 讲师
	11	16:40~18:10		通过BJT与漫画掌握商务日语与沟通实务	大森 一弘	公益财团法人 日本汉字能力检定协会
8月24日 (星期日)	12	13:00~14:30	商务文化与礼仪	商务文化知识的理论与思维方式	牛窪隆太	东洋大学国际教育中心 副教授
	13	14:50~16:20		在企业工作中所需的商务礼仪与沟通技巧	长崎 清美	NPO法人日语教育研究所 理事・研究员
	14	16:40~18:10		AI时代下学习日语的意义	李在镐	早稻田大学 教授

【报名方式】

请扫描右侧的二维码或通过下面的URL进入网站报名。

TOYO Japanese Language Program网站

URL: <https://toyo-jlp.com>



【讲座相关咨询】

TOYO Japanese Language Program

E-mail: toyo-jlp@tugs.co.jp



讲师介绍



前田 直子

学习院大学
教授

毕业于东京大学文学部（语言学专业），并先后完成东京外国语大学硕士课程与大阪大学博士后期课程（现代日语学），获得文学博士学位。

曾任东京大学留学生中心工作人员，2002年4月起任学习院大学副教授，2008年4月升任教授。

在日本语学与日本语教育领域发表了大量有影响力的论文、著作与教学教材。现任日本语学会理事。

著有《ビジネス日本語教育の展開と課題》（商务日语教育的发展与课题）（ココ出版），在商务日语教育领域提出了许多具有前瞻性的见解。



建石 始

神戸女学院大学
教授

毕业于大阪外国语大学外国语学部。获神戸市外国语大学大学院修士学位和博士学位。文学博士。

曾任鹿儿岛县立短期大学文学部副教授，自2011年起任神戸女学院大学文学部副教授、教授。

撰写了多部著作，包括《日本語の限定詞の機能》（日语限定词的功能）、《名詞研究のこれまでとこれから》（日语名词研究的过去、现在和未来）和《名詞類の文法》（名词类的语法），以及许多关于日语同义词和语法的论文、教材。为日语教育做出了许多重要贡献。



尾山 慎

奈良女子大学
教授

出生于大阪府。大阪市立大学大学院文学研究科博士后期课程毕业，获得文学博士学位。

曾任大阪市立大学特别任用讲师、京都大学与佛教大学兼职讲师，自2013年起担任现职。

同时担任真言宗御室派宝珠院住持，致力于宗教文化研究。

研究主题主要涉及日本古代语言文字的演变与表記方法的创新，对日本语的历史、文字的形成和汉字系统有深入研究。

曾获新村出奖研究鼓励奖、万叶学会奖励奖、汉字文化研究优秀奖（佳作）。

著有《日本語の文字と表記 学びとその方法》（日本语的文字与表記：学习与方法）、《朝倉日本語ライブラリー漢字》（朝仓日本语文库・汉字）等，提出了许多关于汉字历史与文化特性的独到见解。



陈 秀茵

东洋大学国际教育中心
讲师

毕业于广东海洋大学外语学院日语系。神戸大学大学院人文研究科硕士・博士课程毕业，取得学术博士学位。曾任德国汉堡大学、神戸大学助手，神戸艺术工科大学、日本经济大学受聘讲师和专聘讲师。研究领域为现代日语语法、日语教育、日语学、语料库语言学，以日语学习者的视点进行现代日语语法的文末表现研究和汉字汉语研究。运用语法・词汇的理论知识，为留学生讲解日语学习者的困难点、注意点，并介绍各种提升日语能力的学习技巧。



田中 祐輔

筑波大学
教授

毕业于筑波大学现代语・现代文化学系。获早稻田大学大学院日本語教育研究科博士学位。日语教育学博士。

曾任日本学术振兴会特别研究员、中国复旦大学讲师、早稻田大学国际学院助教、东洋大学讲师、副教授、青山学院大学副教授。

研究题目包括多文化共生、国际文化交流和日语教育，重点研究留学生日语教育、商务日语、JSL儿童日语教育、日语教材分析与开发、语言政策、日语教育史和日本文化海外传播等。

曾获得第32届大平正芳纪念奖特别奖、2018年度日本語教育学会奨励賞等奖项。



牛窪 隆太

东洋大学国际教育中心
副教授

独協大学外语学院毕业。早稻田大学大学院日语教育研究科博士课程毕业，取得日语教育学博士学位。曾任泰国早稻田教育中心日语学校副主任讲师、早稻田大学日语教育研究中心助手、关西学院大学日语教育中心日语专聘讲师、语言特别讲师。研究领域为质的数据分析法、教师研究、实践研究。



石川 慎一郎

神戸大学
教授

毕业于神戸大学文学部。完成神戸大学文学研究科及冈山大学文化科学研究科研究生课程。获得博士（文学）学位。

专攻语料库语言学和应用语言学。曾任静岡県立大学讲师、广岛国际大学讲师、神戸大学副教授。自2004年起任现职。

现任日本大学英语教育学会（JACET）理事兼关西分会会长、日本计量国语学会副会长、日英语言文化学会理事，并曾任日本英语语料库学会会长。

此外，还担任日本文化厅文化审议会国语分科会委员及语言资源小委员会副主审，日本文部科学省“日语教师培养・研修推进据点整備项目”近畿地区负责人。

主要著作包括《ベーシックコーパス言語学》（基础语料库语言学）、《ベーシック応用言語学》（基础应用语言学）和《The ICNALE Guide: An Introduction to a Learner Corpus Study on Asian Learners' L2 English》（ICNALE指南：亚洲学习者英语学习者语料库研究入门）等，译作包括《概説コーパス言語学—手法・理論・実践》（语料库语言学概论）、《コーパス語彙意味論—語から句へ》（语料库词汇语义学）和《D.H.劳伦斯短篇全集第4卷》（〈两只蓝鸟〉）等。



住田 哲郎

京都精华大学
副教授

毕业于神戸大学大学院文化学研究科，获得学术博士学位。

曾任韩国东新大学观光日语学科专任讲师、神戸大学人文学研究科助教、台湾东吴大学日语文学系助理教授等职务，自2017年起任现职。

主要从日语学的视角探讨漫画表现语言的特点，尤其聚焦于“角色语言（役割語）”在漫画中的使用。

主要研究成果包括《日本マンガの翻訳不可能性に関する一考察》（论日本漫画的不可翻译性）、《役割語とキャラクターの関係性—いわゆる〈王様語〉の分析を通じて—》（角色语言与人物关系——以“王样语”的分析为中心）以及《マンガの笑い声表記に見る役割語》（漫画中的笑声与角色语言）等。



堀井 恵子

武藏野大学
名誉教授

毕业于青山学院大学文学部英米文学科，曾在德意志银行东京分行和伊拉克巴士拉的日本公司支社工作，后从事日语教育。博士（学术）。

曾任武藏野大学教授、研究生院语言文化研究科主任、国际学部日语交流学科主任。

现任日本語OPI研究会会长、学术日语研究会事務局、商务日语研究会首席干事，以及担任经济产业省委託项目「外国留学生在日就业促进调查研究」审议委员会委员、经济产业省委託项目「亚洲人才资金构想通用课程和教材开发委员会」委员、文化厅委託的面向「在日生活的外国人」的日语教育项目、以及「面向在日就业外国人的新任日语教师培训」项目（令和2-4年度）的运营和讲师等职务。在商务日语研究与教育领域奠定了基础，并将最前沿的理论和实践推广至国内外。



大森 一弘

公益财团法人
日本汉字能力检定协会

1996年3月于専修大学文学部国文学科毕业，取得中学和高中国语（日语）教员执照。

1996年4月入职株式会社万弼士文档信息管理，并从事以企业为对象的数据存储和运营BtoB解决方案销售。

2001年6月加入公益财团法人日本汉字能力检定协会。为从小学到大学的广泛教育机构以及企业的日语能力培养提供支持。解决了学校教育、综合学习以及入学考试或求职中所需的日语和汉字能力方面的问题。同时担任协会的公共关系官，负责电视、报纸、杂志等媒体的采访，撰写新闻稿。

目前，在大学和企业进行许多关于提高外国人和日本人沟通能力的讲座和培训。



长崎 清美

NPO法人日语教育研究所
理事・研究员

驹泽大学、东京工业大学兼职讲师。1992年在制钢厂工作后从事日语教育。在日语教室和学校（语言学校、专科学校和大学）任教后，作为日本青年海外协力队员赴肯尼亚工作。回国后，从事日语教师培训课程、教材开发等工作。现从事企业商务人员的日语培训、留学生就业支援、商务日语教室培训等工作。



李 在镐

早稻田大学
教授

毕业于京都大学人类环境学研究科博士课程，获得人类环境学博士学位。

研究专长包括计量语言学、语料库语言学、日本語教育、应用语言学与认知语言学。

曾任职于信息通信研究机构（NICT）、国际交流基金会，并曾任筑波大学副教授。自2016年起任现职。

曾担任计量国语学会理事、日本語教育学会代议员及韩国日本語教育学会海外理事。

2014年荣获日本語教育学会鼓励奖。

在AI辅助语言教学与学习方面具有前瞻性研究成果，著作包括《AIで言語教育は終わるのか?: 深まる外国語の教え方と学び方》（AI会终结语言教育吗?：外语教学方式的不断深化）与《データ科学×日本語教育》（数据科学×日本語教育）等。

课程详情

No.	課程	詳情
01	商务日语和敬语	提到商务日语,许多人会联想到敬语,并因此感到头疼。本课程将回顾敬语的基本概念,讲解在商务场景中常用的敬语表达,并从语言学的角度加深对敬语的理解。此外,还将介绍学习敬语的相关资源及有效的学习方法。
02	以同义表达为主的商务日语实践演习	本讲座将围绕商务场景中的同义表达进行实践演习。通过本次讲座您将理解同义词和同义表达的微妙差异及其适当的使用方法,并学会如何正确使用它们。我们将通过模拟实际商务场景的演习,帮助您培养有效的沟通能力。
03	商务日语中的汉字与汉语词结构解析	本课程将探讨在商务日语中常用的“出口”“设立”“消耗”等汉语词汇的结构。这些词汇多数源自汉语,在传入日语的过程中经历了读音和语义的变化。课程内容包括汉字音读(吴音、汉音、惯用音)及训读的发展历程,并深入讲解汉语词在现代日语中所传达的意义。通过具体词汇的分析,掌握音义偏移、当字使用和词构成等知识,提升对商务日语中汉语词的理解力。
04	商务日语汉字词强化训练	本课程将通过实践训练,提升学员在商务场景中灵活运用汉字词的能力。围绕发音、含义和使用方式展开,融合读、写、表达等多种技能训练,帮助学员将被动词汇知识转化为主动表达能力。课程旨在提升职场交流中的语言敏感度,使汉字词的运用更加自然、准确、自信。
05	商务日语词汇表达练习	在这次讲座中,我们将共同学习日语学习者在学习实际商务场景中使用的词汇时所面临的困难,并将通过实践练习和讲解来加深理解。课程中,我们还将进行BJT商务日语能力测试的模拟题目练习。
06	实战商务语法训练： 提升实际运用能力的商务日语课程	本课程聚焦于在商务环境中不可或缺的日语语法要点。通过练习题与详细解析,帮助学员掌握邮件、会议、对话等场景中常用的句型与表达方式。课程将安排现场实作,请准备好笔记用具积极参与。
07	商务日语及笔译和口译 -在两种语言之间转换的乐趣-	在使用“日语作为外语”工作时,你是否经常被要求用母语进行翻译呢?那么,笔译和口译都需要什么样的知识呢?我们将以"Traduttore, traditore (译者是叛徒)" 这句名言为出发点,考虑翻译成(来自)日语的乐趣与困难,以及通过此过程看到的日语特点。
08	通过漫画探索日语角色语言的魅力	深受全球欢迎的日本漫画不仅吸引人们于故事和画风,还展现出独特的语言表达与文化背景。本课程将从翻译视角出发,探讨日语与其他语言在表达与文化习惯方面的差异。内容包括拟声拟态词、角色语言、文体以及文化中的潜规则等,结合实际案例思考漫画翻译的难点,深入体会日语与日本文化的魅力,感受“无法直译的语言”所带来的乐趣与挑战。
09	商务日语听力精通技巧	在商务场合中,从与客户、上司的谈话或电话等口头交流中准确获取所需内容是不可或缺的能力。本课程将侧重于商务日语的听力理解,培养与工作直接相关的具体实用技能。通过提高听力能力,学习如何更加顺畅地进行职场沟通。
10	从闲聊开始的商务日语	商务交流并不总是从正题开始。职场中的轻松闲聊或与客户的简单交谈,常常会成为建立信赖关系的契机。本课程将聚焦商务场景中的“闲聊”,探讨如何自然开场、得体应对。内容涵盖话题选择、距离感把握、委婉表达等技巧,帮助学员掌握日语会话中微妙的人际互动与沟通艺术。
11	通过BJT与漫画掌握商务日语与沟通实务	本课程将介绍在日本工作的商务人士所需的沟通技能,并解析“BJT商务日语能力考试”的特点及样题。通过结合BJT考试的实践学习,以提升商务日语能力的具体技巧。在课程后半部分,我们将通过使用BJT商务日语能力考试官方Facebook上发布的漫画,轻松学习日本企业文化和商务日语的实用技巧。
12	商务文化知识的理论与思维方式	在日本的商务环境中,有效沟通离不开对文化的理解。本课程将介绍商务文化的基本概念与理论,并指导学员如何将其应用于实际交流中。通过探讨日本的价值观、习俗与职场规则,帮助学员更从容地应对各种商务场景。
13	在企业工作中所需的商务礼仪与沟通技巧	掌握商务日语不仅需要理解商务文化和商业习惯。在本次讲座中,我们将结合具体实例讲解在日本企业工作时所需的重要商务礼仪和商务沟通技能,并与大家一起深入思考。
14	AI时代下学习日语的意义	在AI技术飞速发展的今天,利用人工智能技术的翻译/口译工具被广泛应用,那么“学习日语的意义”是什么?本课程将以AI时代日语学习的重要性为主题,探讨翻译技术的局限性和语言学习的本质价值。结合具体案例,从多角度审视日语学习对未来社会与职业的潜在可能性。希望本课程能成为与参与者共同思考AI无法取代的日语魅力与可能性的契机。